

センター利用手順

◦利用者の資格

本センターは、学術研究その他センター長が必要と認めるものであって、その成果が公開できるもの限り利用することができます。このため、以下の各号に該当する方だけが、本センターを利用することができます。

- 1) 金沢大学の職員およびこれに準ずる者
- 2) 前号の他、特にセンター長が適当と認める者

◦課題申請と承認

上記有資格者がセンターを利用しようとする場合には、まず「課題承認申請」をしなければなりません。申請は「課題承認申請書」に必要な事項を記入し、各講座責任者（経費負担責任者）の許可を得たうえで、センターに提出して下さい。センターでは、センター長の承認が得られ次第利用者登録を行い、課題番号を利用者に通知します。なお、交付された課題番号の有効期限は、その年度末までとなっています。（教育実習用は除く）

特に申請がない限り、年度末に磁気ディスク上のファイルをすべて消去しますので、継続して使用したい方は早めにセンターに連絡して下さい。

◦利用結果報告

利用者は研究課題にかかわる研究が終了した時、ならびに、毎年度末、又はセンター長から特に報告を求められた場合には「計算機利用結果報告書」をセンター長に提出して下さい。

又、利用者がセンターを利用して行った研究成果を論文等に公表する場合には、本センターを利用した旨を明記して下さい。

◦業務時間

- 1) 事務室の受付（プログラム相談等を含む）

月～金	9：00～12：00, 13：15～16：50
土	9：00～12：20
- 2) 計算機稼動時間
 - i) 3月～10月

月～金	9：00～20：20
土	9：00～15：50
 - ii) 11月～2月

月～金	9：00～21：50
土	9：00～17：20

注) ハードウェア、ソフトウェア保守のため、それぞれ、月1回午前中、計算機を使用できない日があります。

◦消耗品の購入

下記の計算機用消耗品は、センターで購入できます。ただし、課題承認され、登録されている方に限ります。又、私費による購入はできません。

- プログラム・データ シート
- プログラム・データ カード
- EDP ファイル
- 紙テープ BOX
- 磁気テープ (各サイズ, レンタルも有)
- テンプレート
- フロッピーディスク (片面単密)
- フロッピーバインダ
- ラインプリンタ用紙
- ポータブル端末用感熱紙
- コピー (ゼロックス)

マニュアルは、公費ならば図書扱い、私費ならば生協で購入して下さい。

◦センター発行、利用の手引の入手方法

センターでは、いくつかの利用の手引や速報を発行しております。これらは、すべて計算機のディスクパックに入っており、利用者がほしい時に自分で、出力できるようになっています。現在、出力できる手引は以下の通りです。

マニュアル名	題 名	内 容	著 者
MNAV01	NLP使用手引	日本語ラインプリンタへの 図形出力の方法	車古 正樹 沼田 道代
MNBV01	文献情報検索 (京都大学大 型計算機センター)	京都大学のデータベースの 利用法	武部 幹 松本 豊司
MNCV01	OFF-LiNE XYプロッタ ーデジタイザー編	OFF-LiNE XYプロッタ ーデジタイザーの使用法	宮島 昌克
MNDV01	運用手引書 (I) UCF (US ER CONTRÖLE FILE)編	センタ運用ファイル (UC F) の見方	車古 正樹
MNEV01	センター諸規定集		センター
MNFV01	バッチからTSSへ	バッチからTSSへ移行す るユーザのための準備書	山崎 光悦
MNGV01	運用手引書 (II) AiF, SiF編	センタ運用ファイル (AiF, SiF) の見方	車古 正樹
MNHV01	TSS端末によるバッチ処 理フルスクリーン機能と出 力検索	TSS端末からのバッチジョ ブ投入方法, ならびにフルス クリーンエディタの使用法	関崎 正夫

マニュアル名	題名	内容	著者
MNIV01	TSS実習編(初級用) TSSコマンド・データセット・実行のABC	TSS処理の全般を網羅, TSS座右の書	山崎 光悦
MNJV01	TSS実習書(初心者編) FORTRANユーザのためのTSS入門	初めてTSSを使う人のための入門書	中島 恵美
MNKV01	TSS実習書(全般的) TSSユーザのためのセンターコマンド	TSSの便利なコマンドの使い方	車古 正樹
MNMV01	TSS実習編(中級用) FORTRAN 77インタラクティブデバッグ実行時エラーの原因を見つける	インタラクティブ・デバッグの実行方法	関崎 正夫

昭和57年1月現在

また、出力させる方法は以下の通りです。

◦ バッチによる出力

```
//      JOB 文 (クラスはBを指定)
/*JOBPARM,L=100
//      EXEC NEWS, M=マニュアル名, NO=課題番号の数字部4桁
//
```

◦ TSSによる出力

B MANUAL DATA (マニュアル名)

いずれの場合も、手引はカフェテリア室のNLP(日本語ラインプリンタ)に出力されます。

◦ 利用可能な入出力器機

以下の入出力器機は課題承認を受付、利用者課題番号を交付された方ならば自由に利用することができます。

器機名	製品名	台数	オンライン オンライン媒体	場所	入出力	備考
カードリーダー	FACOM670G	2	オンライン	1階カフェテリア室 2階オペレータ室	入力	マークカードも 可
フロッピードライブ	FACOM44 3D	1	"	1階カフェテリア室	入出力	IBMフォーマット
紙テープリーダー	FACOM749G	1	"	"	入力	
日本語ラインプリンタ	FACOM6715D	2	"	1階カフェテリア室 2階オペレータ室	出力	図形も可

器機名	製品名	台数	オンライン オンライン媒体	場所	入出力	備考
カードパンチ出力機	FACOM69 0D/K	1	紙カード	1階カフェテリア室	出力	
磁気テープ装置	FACOM610S 2	3	磁気テープ	2階オペレータ室	入出力	800BPiオートロ 1600BPiーディング
フロッピーデータ エントリ	FACOM6852A	2×2	フロッピーディ スク	1階パンチ室	入出力	
カードパンチ機	IBM29	8	紙カード	1階パンチ室	入力	
X-Yプロッタ	HCDS-V805	1	磁気テープ	2階オペレータ室	出力	
ディジタイザ		1	紙カード	1階パンチ室	入力	
画像データ入出力 装置	SORDM223 AMUST 5000	1	フロッピーディ スク	1階TSS端末室	入出力	

・個人用磁気ディスク・データセットについて

利用者はセンターの磁気ディスク装置に、データセットを作成することができます。1人当りのデータセット数は10個まで（何個でも作ることはできますが、次の日には消去されて10個しか残りません。）また、使用できるトラック数は、特に申請がない限り200トラックまでとなっております。

・計算処理の手順

プログラムの作成はすべて利用者の責任で行って下さい。センターでは、プログラム作成の委託は受けておりませんので、利用者各自がマニュアルやセンター発行の利用の手引などの資料を参考にして作成して下さい。

でき上がったプログラムを計算機に入力するには、以下の方法があります。

1) バッチジョブの手順

- ・プログラムをオンラインカードバッチ機でカードにパンチする。又は、フロッピーデータエントリ装置でフロッピーディスクに書き込む。
- ・カード又は、フロッピーディスクをカフェテリア室のカードリーダー又は、フロッピー入出力装置で読み込ませる。（この他、TSS端末からのバッチジョブ投入もできます。）
- ・処理状態は、カフェテリア室のサブ・コンソールに表示されます。主なメッセージは、以下の通りです。

(1) ジョブが受け付けられた時

```
ENQC00* AB9999A ACCEPTED CLASS=A, IN/JOB=AB9999
          JOB名
```

(2) ジョブがスタートした時

```
JEM373I AB9999A STARTED-INIT. 1-CLASS A-SYS 170F
```

(3) ジョブが終了した時

ACTR00I AB9999A ENDED C \bar{O} ND =0000, AIFN \bar{O} =09359

エラーコード, 0なら正常終了

結果は、一般のジョブでは一旦ホールドされ、出力待になっていますので、カフェテリア室の日本語ラインプリンタより出力させるにはトークンカードをカフェテリア室のトークンカードリーダーで読ませる必要があります。

注) 上記作業はすべて利用者が行うことになっております。

2) T S S 端末による手順

現在T S S 端末は、センター内に20台（漢字用3台、グラフィック用1台を含む）、城内分室に6台（グラフィック用1台を含む）、宝町分室に10台（グラフィック用1台を含む）、工学部内端局室に合わせて12台あります。その他、公衆回線によるTTY 端末等が使用できます。利用者は原則として、これらのどの端末でも使用することができますが、センター以外の分室、端局室では、独自の利用規則があることがありますので、各分室、端局室にお問い合わせ下さい。

。料金について

利用区分及び利用者

- | | |
|----------|---|
| 一 一般研究 | 本学職員が研究を行う場合及び本学学生が指導教官の承認を得て卒業論文又は学位（博士・修士）論文の作成のため研究を行う場合 |
| 二 教育実習 | 本学学生が指導教官の承認を得て計算機実習を行う場合 |
| 三 事務処理 | 本学職員が事務処理を行う場合 |
| 四 共同研究 | 本学職員と共同研究を行う国立学校職員が該当研究を行う場合 |
| 五 センター業務 | センター員、分室責任者その他センター業務に直接関係する本学職員がセンター業務を行う場合 |

利用者経費及び算出方法（各式の係数は、別表、利用区分別係数表の係数とする。）

一 基本料 1 J O Bにつき A円

二 計算料 バッチの場合 1 J O Bにつき

$$B \times \text{CPU時間(秒)} * * C + D \times \text{ELAPS時間(秒)} \times \{K + L \times \text{LOG} 2 \{(\text{リジョンサイズ}(K\text{バイト})/64)\}\}$$

T S S の場合 1 回につき

$$B \times \text{CPU時間(秒)} * * E + J \times \text{ELAPS時間(秒)} \times \{K + L \times \text{LOG} 2 \{(\text{リジョンサイズ}(K\text{バイト})/64)\}\}$$

三 入出力料

- | | |
|------------|--------------------------------|
| ラインプリンター | 1 J O Bにつき時価×出力枚数 + F×出力レコード数 |
| カード出力 | 1 J O Bにつき時価×出力枚数 |
| オンラインプロッター | 1 J O Bにつき時価×出力の長さ + G×使用時間（秒） |
| 磁気テープ | 1 J O Bにつき H×使用時間（秒） |
| フロッピイディスク | 1 J O Bにつき I×使用時間（秒） |

- カード入力 1 JOBにつきP×入力枚数
 回線入出力 公衆回線：M×(入力レコード数+出力レコード数)
 専用回線：N×(入力レコード数+出力レコード数)
 日本語ラインプリンター 出力枚数×Q円
 ハードプリンター付端末 R×出力レコード数
- 四 ディスク専有料 専有1日につき使用トラック数×O円
 五 消耗品料 カード、シート、EDPファイル、磁気テープ 時価
 六 オフライン・プロッターの使用料金 1時間につき100円

利用区分	一	二	三	四	五
係数記号	一般研究	教育実習	事務処理	共同研究	センター業務
A	5	0	*	50	5
B	3	3	*	3	3
C	0.7	0.7	*	0.7	0.7
D	0.06	0.06	*	0.06	0.06
E	0.8	0.8	*	0.8	0.8
F	0.03	0.03	*	0.03	0.03
G	0.15	0.15	*	0.15	0.15
H	0.02	0.02	*	0.02	0.02
I	0.01	0.01	*	0.01	0.01
J	0.03	0.03	*	0.03	0.03
K	0.7	0.7	*	0.7	0.7
L	0.1	0.1	*	0.1	0.1
M	0.01	0.01	*	0.01	0.01
N	0.06	0.06	*	0.06	0.06
O	0.10	0.10	*	0.10	0.10
P	0.03	0.03	*	0.03	0.03
Q	3	3	*	3	3
R	0.01	0.01	*	0.01	0.01
備考			* センター長 が利用者と協 議して定める。		ただし計算機 センターが負 担する。

- 注1. 前年度に京都大学大型計算機センターを利用した者についてはその京都大学計算機センター利用経費の4/14の額に達するときまで利用区分の五の欄を適用する。
 2. ソフトウェア又はマニュアル(利用手引書)を作成し、計算機センターに提供した者で、教育小委員会が認めた者については教育小委員が認めた限度で利用区分の五の欄を適用する。

- 附 則：この細則は、昭和55年3月17日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。
- 附 則：この細則は、昭和55年11月28日から施行し、昭和55年11月1日から適用する。
- 附 則：この細則は、昭和56年1月1日から施行し、昭和56年1月1日から適用する。
- 附 則：この細則は、昭和56年4月16日から施行し、昭和56年5月1日から適用する。
- 附 則：この細則は、昭和56年8月10日から施行し、昭和56年9月1日から適用する。
- 附 則：この細則は、昭和56年9月22日から施行し、昭和56年10月1日から適用する。
- 附 則：この細則は、昭和56年11月12日から施行し、昭和56年11月1日から適用する。

Q & A

1. 〔質問〕 京大を通して大型計算機センター（東大、名大等）を利用する手順をお教え下さい。

〔解答〕 現在のところ使用できません。

新規計算機システムのレンタル料が認められた場合にDDX網加入する予定です。
DDX網に加入した場合はすべての大型センターが利用出来ます。

2. 〔質問〕 金沢大学の計算機で利用出来る（あまりむづかしい手続きなしに）ソフトをお教え下さい。

〔解答〕 主に以下のものがあります。

- a) 言語：FORTRAN 77, COBOL, PL/I
- b) アプリケーション
 - SLCS : 科学用シミュレーション言語
 - SAS : 統計解析
 - SIGMA : 図形処理
- c) サブルーチン
 - SSL 2 : 科学用サブルーチン
 - PSP, PSL : プロッタ用サブルーチン
 - T-GSP: グラフィック用サブルーチン
 - GRACE : 図形サブルーチン

3. 〔質問〕 TSS端末から入力してLPに出力する方法があればお教え下さい。

〔解答〕 次の2つの方法があります。

- a) サブミット・ジョブを出力する場合
 - 一般のバッチジョブと同様の方法で出力可能です。
 - ・センター出力の場合は、トークン・カードを読みます。
 - ・城内キャンパスの場合、TSS端末より、次のコマンドを入力する。
- ROUTR 2 ジョブ名
- または

